

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1 778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

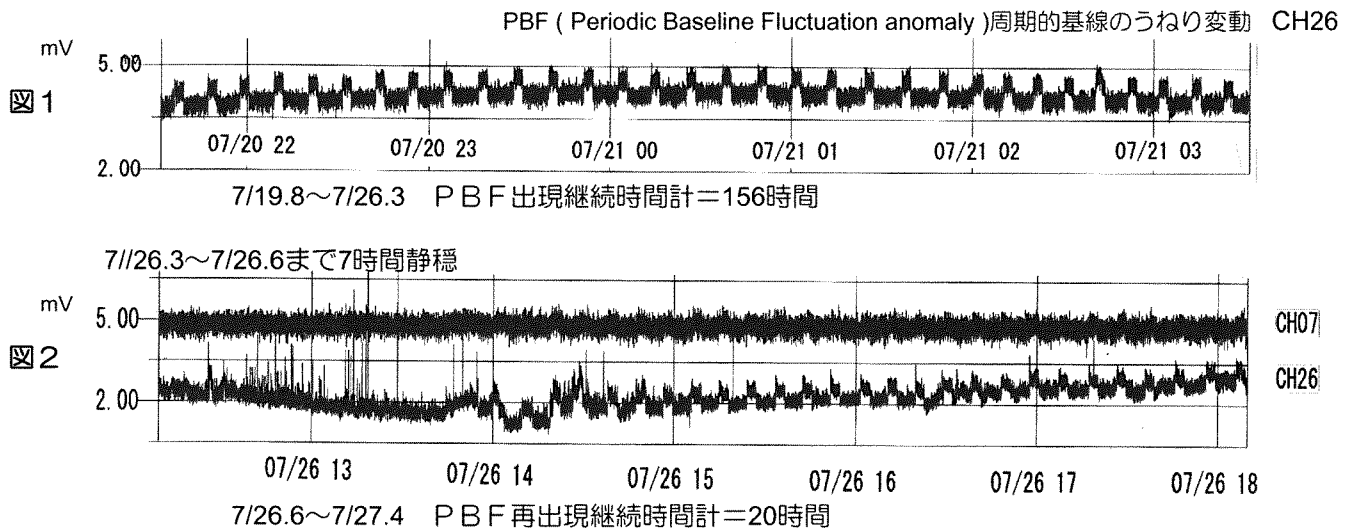
続報 No.329

2022.07/27 (水曜) 16:30 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

14年継続した前兆 7月29日 対応地震発生の可能性 続報328の補足

PBF 156 時間継続のあと、7 時間静穏継続後再出現 トータル 176 時間継続出現

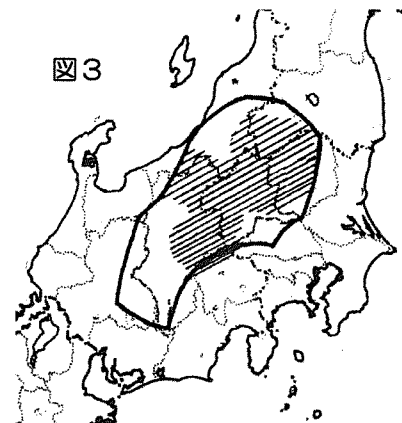


PBF出現継続時間計=176時間

PBFから推定される規模=(経験式 $\text{Log PBF継続時間計} h = 0.5M - 1.8$ より) $M8.1 \pm 0.3$
極大7/22.9~終息7/27.4 ($T_{\text{map}}: T_{\text{pp}} = 3.9:1$ 経験則より) 7/29 発生の可能性

14年継続した長期前兆は昨日発表の続報No.328で報告のとおり、7/29±2発生の可能性です。CH26等のPBFは昨日7/26朝07時頃終息と報告致しましたが、7/26の07時から14時までの7時間 PBFは止まっていたが、14時~本日7/27の午前10時頃までの20時間、CH26,CH07,CH15 に揃ってPBFが再出現しました。PBFのトータル出現継続時間計は176時間となり、 $M8.1 \pm 0.3$ 規模が計算されます。終息が7/26.3ではなく7/27.4となったことから、上記のとおり、7/29発生の可能性となります。最終認識前兆変動PBFから、7/28発生の可能性は低く、7/29発生の可能性が高い見解です。誤差があっても7/31まで。最終認識前兆PBFからは $M8.1 \pm 0.3$ が推定されますが、推定規模は $M8.0 \pm 0.3$ のままとします。7/31までに対応地震発生が無い場合には再考します。

- ◆推定領域：図3太線内領域内(火山近傍領域)
斜線域=可能性考え易い参考推定領域
- ◆推定規模： $M8.0 \pm 0.3$
地震に伴う近隣火山の噴火=完全否定は困難
何らかの火山活動活発化の可能性否定困難
- ◆推定時期：2022年7月 29日(最大誤差：7/29±2)
7/29 発生の可能性考え易い
7/31までに発生なき場合は再考します
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：AM 9:00±2 又は PM 5:00±3



C) Copyright 2022 YSBO 八ヶ岳南麓天文台